

令和4年度 あきたサステナビリティスクール 自己点検・評価について

評価項目	実施組織による自己点検・評価	自己点検に基づく 運営・評価委員会の評価
<p>教育課程 (プログラムの実施状況、 カリキュラム、講義内容 等)</p>	<p>令和4年度はスクール科目A群36時間、スクール科目B群21時間の講義を全てオンデマンド配信し、フィールド研修2回、課題研究のグループディスカッション及び発表会を実施した。 アンケートでは「基礎理論から秋田の現状や今後の展望についての講義が受講できた」「科目の構成内容と組立てバランスが良かった」「歴史的な背景や現場の現状などネット情報だけでは体系的に取得し難い内容もあった」「どの講義もポイントを押さえてわかりやすい」「対面する機会を可能な範囲で増やして欲しい」等の意見があった。 フィールド研修、課題研究については、実施内容に80%以上の受講生が「満足」と回答し、高い評価を得ることができた。</p> <p>&lt;令和4年度 講義アンケート及び修了生アンケート結果&gt;  <b>■オンデマンド講義について</b>            ・大変満足 67% ・おおむね満足 25% ・やや不満 8%  <b>■授業内容は興味深いものであったか</b>            ・そう思う 79.5% ・どちらかといえばそう思う 18.5%            ・どちらかといえばそう思わない 1.6%  <b>■フィールド研修の実施内容について</b>            ・大変満足 50% ・おおむね満足 34% ・不参加 8%            ・どちらとも言えない 8%  <b>■サステナビリティスクール課題研究実施内容について</b>            ・大変満足 67% ・おおむね満足 25% ・やや不満 8%</p>	<p>アンケート及び自己点検の結果により、教育課程は基礎理論から歴史的な背景・成り立ち、秋田の現状等、体系的な学びの機会を提供できていると判断できている。            今後は教員、受講生が交流できる機会を増やすことについて検討していただきたい。</p>
<p>教育成果 (人材育成効果：身に付ける能力を修得したか。)</p>	<p>令和4年度は受講生14名全員が修了要件を満たし、修了することができた。 アンケートでは教育成果について「大変満足」との回答が前年度より大幅にアップした。質問や問い合わせに対し担当講師がメール等で丁寧に対応したことで受講生の理解が深まり、高い評価を得ることができたと考えられる。</p> <p>&lt;令和4年度 講義アンケート及び修了生アンケート結果&gt;  <b>■受講したことで新しい知識や考え方が身についたか。</b>            ・そう思う74.7% ・どちらかといえばそう思う24.4%  <b>■受講内容は自身が期待した能力の習得に役立つものとして満足できたか。</b>            ・大変満足 75% ・おおむね満足 25%  <b>■受講したことによってどのような効果があったか。【複数回答】</b>            ・業務に必要な専門知識や技能などを習得できた(6名)            ・業務の質の向上に役に立った(4名)            ・趣味・教養を深めることに役に立った(11名)            ・学習意欲が高まった(9名)            ・その他(3名)・特になし(0名)</p>	<p>アンケート及び自己点検の結果により、教育成果は満足度が高く、十分な教育効果があったと判断できる。            また、有用なカリキュラムであることが客観的に評価されたものと考えられる。</p>
<p>受講生に対する 支援について</p>	<p>フィールド研修及びライブ講義は欠席者のために録画をオンデマンド配信し、課題研究発表会はオンライン参加を可能とする等、遠方からでも受講しやすい環境を整えた。 提出物等については随時メールで連絡し、ライブ講義やディスカッション実施の際は事務局が待機し支援体制をとった。</p>	<p>オンライン参加は、受講者の利便性に資するものとして、引き続き実施すべきと考えられる。</p>
<p>アンケートの実施について</p>	<p>各科目受講後に講義アンケート、7月に課題研究事前アンケート、修了式後に修了生アンケートを実施した。 アンケート結果は運営・評価委員会に報告し、必要に応じて次年度以降のプログラム運営に反映させている。 令和4年度は前年度のアンケート結果により、フィールド研修の一部を録画し、欠席者のための限定配信を行った。</p>	<p>アンケートの実施により、様々な意見を得ることができている。今後の改善に繋げるため、厳しい意見についても適切な取組がなされている。</p>
<p>広報活動 (受講生募集・広報)</p>	<p>スクールHPに募集要項、修了生の声を掲載し、講義日程及びシラバス等で受講内容が確認できるようにした。また、秋田県内外の関係各所にチラシを送付して職員への周知及びHP等へ掲載を依頼し、秋田県内自治体広報紙、商工会議所等のメールマガジン、マナパス等に掲載を行った結果、定員(10名)を超える14名の申込があった。 今後は秋田県外への広報をより強化していきたい。</p>	<p>定員以上の申込があり、適切な広報活動が展開されていると判断できる。今後は更に県外の受講生募集・広報活動の充実に努めていただきたい。</p>